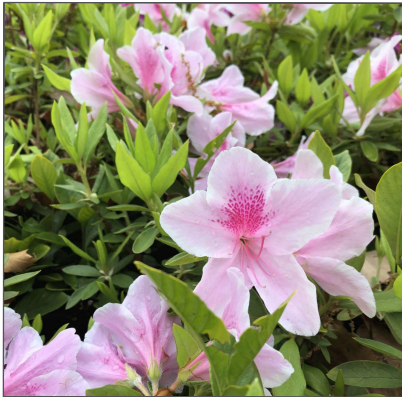


**日本共産党**

**中央区議団ニュース**

発行  
日本共産党中央区議会議員団  
中央区築地1-1-1  
中央区役所9階  
TEL 3546-5563 FAX 3546-9570



中央区の花 つつじ

# ゼロカーボンシティ中央区宣言を採択

ゼロカーボンシティ中央区宣言

この地球がかつて経験したことのない速さで進む温暖化

海の水が増え 多くの動植物がすみかを失い

自然災害が猛威を振るう

わたしたちは日々のくらしや命さえもおびやかされる危機に

直面しているのです

残された時間は多くありません

今こそ行動をおこすときです

未来ある子どもたちを想い

命あるすべてのものを慈しみ

みどりあふれる豊かな地球を次の世代につなぐため

二〇五〇年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを

中央区は今ここに宣言します

二〇二二年三月三十日

中央区議会第一回定例会最終日の3月30日、「ゼロカーボンシティ中央区宣言」が全会一致で採択されました。

## 2050年までに実質ゼロをめざす

都心中央区は多くの二酸化炭素を排出し、環境に負荷をかけています。区長は、「今日、気象災害が激甚化するなど世界規模で地球温暖化が加速し、私たちの生存基盤を揺るがす危機が生じており、区においてもさらなる取組の強化が必要」として地球温暖化対策に取り組み、脱炭素社会の実現を目指す」と述べました。

## 「気候非常事態宣言」を提案

日本共産党区議団は、これまでも「気候の非常事態宣言を公表し、温室効果ガスのゼロエミッションを達成する目標を立て、持続可能な消費の推進策の計画を実施すること（奥村あきこ／19年9月）」「環境破壊をくい止める決意を示す『気候非常事態宣言』を発表す

ること（おぐり智恵子／20年3月）」を繰り返して求めてきました。区はその時点では「宣言は考えていない」という答弁でした。しかし、世論の広がりの中、本定例会に「ゼロカーボンシティ中央区宣言」が提案されたことは、大きな一歩です。

## 環境行動計画を改定

実際に温暖化防止にどう取り組んでいくかは、「中央区環境行動計画2018」の改定の中で具体化を図る予定です。

気候変動をくい止めるために、まちづくりの転換など実効ある対策を取るよう全力をあげます。



▶ 中央区環境行動計画2018

# PCR検査の拡充を求め「予算修正案」提出

●環境に多大な負荷をかけ、また、新型コロナウイルスにより不動産需要の下落が懸念されるもとで、大規模再開発事業による超高層オフィスビルやタワーマンション建設は見直すべき。

●学童クラブ待機児童も深刻さを増しており、

●新型コロナウイルスの無症状感染者を保護し、リスクの高い高齢者などへの感染を広げないためにも、検査体制の拡充が求められるが、予算化されていない

区議会第1回定例会で、新年度予算の審議が行われました。

日本共産党区議団は予算修正案を提出（左欄参照）、区長提出の予算案に対して、反対の態度を表明しました。

## 反対の理由（抜粋）

「苦渋の決断」として定員以上に子どもを詰め込むことは限界に達している。学童クラブを増やす方向に舵をきる必要がある。

●後期高齢者医療は、22年度から窓口負担を1割から2割へ2倍化するのでは問題。



## 区民の声を紹介

日本共産党区議団が実施している「区民アンケート」には、「緑の多い広い土地で遊びたい」「住宅価格が高く購入をためらってしまう。若い世代の定住のためにも補助などがあれば助かる」「住む家に困っている人や低所得の人のための住宅を

建てて欲しい」「ほっとプラザはるみがなくなってしまうって残念」「将来にむけて災害や感染症に関する施設の設置。病院の設置も検討を」「中央区として地球環境保護、気候問題にどう取り組むのかよく分からず、子供世代へのツケを心配しています」など多くの声が寄せられています。

## 日本共産党区議団の「予算修正案」

日本共産党区議団は、予算特別委員会で新年度の一般会計予算に対する修正案を提出しました。

コロナ禍でくらし、営業や、医療機関や介護施設で困難な現状が広がる中、党区議団は、区独自に一人2万円の特別給付金の実施や、PCR検査の拡充、医療・介護事業者への支援金などを実施するため、歳入歳出予算を37億7768万円増額する修正案を提出しました。

財源としては、晴海選手村のマンション建設に対する「開発協力金」を事業者に求める提案です。

### 《歳入予算の修正内容》

情報公開の閲覧・視聴手数料の廃止-----	△72万円
介護施設PCR検査の都補助金-----	1億3940万円
開発協力金収入 晴海選手村板状棟分----	36億3900万円

### 《歳出予算の修正内容》

議長交際費を半分に削減-----	△50万円
議員の費用弁償の廃止-----	△395万円
区長交際費を半分に削減-----	△200万円
中央区特別定額給付金 一人2万円-----	34億5051万円
生活保護世帯への見舞金復活-----	1300万円
高齢者入所・通所施設でのPCR検査-----	1億3940万円
介護施設への感染症対策支援金-----	7551万円
かかりつけ医への感染症対策支援金-----	1億1867万円
学習力サポートテストの中止-----	△1296万円

残念ながら「修正案」は否決されてしまいましたが、これからも粘り強く提案していきます。

引き続き「中央区民アンケート」へのご協力をお願いします



### ◆無料法律相談会

5月18日(火)3時から  
要予約 ☎ 3546-5563



おぐり智恵子

所属委員会：企画総務・築地等地域活性化特別委員会



奥村あきこ

所属委員会：区民文教・コロナウイルス防災等対策特別委員会